



東援だより 第26号

理 念

私達は、高い志を持ち、時代の要請に基づき先駆的に社会福祉の充実を図るため、活力のある経営を行って、社会福祉法人としての責任を果たし、社会に貢献してまいります。



「みんなのやる気」
東京都練馬障害者支援ホーム
(詳細：2 ページ㊦)

も	く	じ
■	■	■
平成27年度 下半期 施設交流報告	上半期 法人施設公開行事日程	大特集 祝成人 いずみの苑
7	6	4
		3
		2

介護報酬の引き下げ

理事長 山口 桂造



此度の厚生労働省の発表では、介護報酬は全体で二・一七%の引き下げとなり、特に介護施設では大きな影響を受けました。

ある信用調査会社が九月三十日に発表した驚くべき調査結果があります。「今年一月～八月の

介護事業者の倒産が五十五件に上り、過去最多だった昨年の倒産件数五十四件を上回った。その原因は、介護報酬の引き下げと人件費の高騰などが影響していると見られる。さらに、介護報酬の引き下げの影響が本格的に表れるのは秋以降とみられ、今後さらに倒産が増える可能性がある。」と報じています。将来の介護保険財政を守るための報酬引き下げが、皮肉にも福祉サービスの担い手である介護事業者の倒産を増やすという結果を生み出していました。増々高齢者への福祉サービスが必要となる現状で、本末転倒との批判が出ています。

当法人も、試算してみたところ、全体で五千四百万円の減(二・二九%の引き下げ)となり、法人創設以来初めての試練と言えるほど大幅な収入減が見込まれました。この引き下げに対して、当法人はいち早く対策を講じ「法人全体が一丸となってこの試練に立ち向かっていく」「施設の利用率の向上を図り、介護報酬で定められた加算は着実に取得し、無駄な経費を削減する」の方針の下に、具体策を職場で議論した結果、実に様々なアイデアが出されました。そして、「収支改善計画」を策定することにより、この試練を乗り越えるための一定の目処がついたところです。

これからは、この「収支改善計画」を着実に実施し、法人の財政基盤を強固なものにして、利用者の方々に温かい心のこもったサービスを提供し続けてまいります。

理事・評議員 あいさつ

あいさつ

上野観光連盟 会長 二木 忠男



昨年理事・評議員として委嘱を受け約一年が経ちました。

川崎市の有料老人ホームの事故やその後の内部トラブルのテレビ報道には大変驚かされる面もありました。

大変複雑で働く人にとっても大変難しい業務でもあり、管理上の責任問題にもなりかねない複雑な業種であることを痛感しました。今後共様な観点から信用問題にもなりうる老人介護の対応の仕方や施設の健全運営を図る上で、たくさん課題に対して対処研究する必要性を感じました。

理事長は、「社会福祉法人として国家や地域への貢献をなすべきである」との国の報告書により、当法人も、これからはさらに社会福祉法人としての役割である「社会貢献事業」を行っていく必要があると常に言われております。

私事で恐縮ですが、東京援護協会への参加するお誘いを受ける事になったのは、山口理事長、

日崎評議員お二人が上野観光連盟の先輩会長であり、私も上野観光連盟現会長というご縁ですが、この立場で、今、社会貢献事業としてどうお役に立てるか考えさせられます。

先日の理事会で各施設の実績報告がありその一つに、高齢者施設で地域交流の場として「ランチサロン」(近隣高齢者への昼食サービス)を開いており、定着してきていると聞きましたが、引きこもり独居高齢者に働きかける為にも大切な事だと思いました。

そこで私の立場として、前記の高齢者の方々等に上野まで出向いて頂いた際、上野恩賜公園の自然環境に触れていただいたり、都内随一の文化施設群などへの訪問、また、「江戸徳川から明治維新の幕開けの舞台である上野」の壮大な歴史を語る講演会等への参加など、歴史に興味を持つ、知識習得をして頂く、そんな生き甲斐の一つになれるよう貢献できたらと考えています。

協会では介護事業や特養・障害者支援・就労支援などに取り組みられておりますが、社会的にたいへん重要な事業ばかりであると思っております。理事会評議委員会では毎回各施設長からのご報告をお聞きしておりますが現場の努力工夫を感じます。施設に関わるスタッフの方々のご苦勞に感謝し、今後ともご自身お御身体にも気を払いご活躍されることを願いご挨拶いたします。

「みんなのやる気」

東京都練馬障害者支援ホーム

生活支援係長 中野一

この作品は「みんなで、何か出来たらいいね」という利用者と職員の他愛もない会話から始まり、「新聞紙を使えばエコだね」「何か作れるかも」とアイデアを募りました。新聞紙を丸める人、色を塗る人、折り紙を折る人、できたパーツを貼りつける人と、一人ひとりが得意な工程を分担して作成していきました。気がつけば、日に日に参加者が増え、自然に「みんな」が「やる気」になって完成することができました。

12月に練馬区立美術館で開催された「障害者ふれあい作品展」に出展。平成27年3月発行の練馬区の「障害者福祉のしおり」に載せる作品の候補に選ばれ、見事表紙に採用されました。

今後も利用者の方々への社会参加の一助になるよう、活動の提供に努めていきます。



特集

包括支援センターのお仕事

くらまえ地域包括支援センターは、隅田川に架かる橋のひとつ「厩橋」に隣接しています。「蔵前」という地名はこの地に江戸幕府の御米蔵があったことに由来し、町域内は商業地・住宅地が混在しています。蔵前を縦断する江戸通り沿いには、おもちゃ問屋が軒を連ねていることでも有名です。

当センターの担当域は、約21,200世帯、人口約36,000人。昔からこの地で生活を営んでいる世帯が多く、下町風情が今も残る地域です。しかし一方で、近年マンション建設がすすみ、新しい世帯層も増えてきました。私たちの使命は、昔からいる人、新しい人、誰もが住み慣れた地域で安心した生活が続けることができるよう、地域づくりを進めていくことです。

「地域ケア会議」等を通して、様々な関係機関の方々と一緒にこの使命の達成に向けて取り組んでいきます。



くらまえ 地域包括支援センター

係長 水野 尚子

ある日、板橋区から1本の電話がかかってきました。「認知症があり路上で座り込んでいる高齢者が警察で保護されました。これから自宅まで送り届けるので、その後の様子確認と今後の支援をお願いします。」

最近では、認知症や妄想性障害、末期癌、生活困窮、虐待、アルコール問題などの相談が増えています。緊急時は、すぐに行かれる職員が駆けつけ、実態把握をして今後の対応を検討します。支援困難ケースは、対応に悩む事も多いですが、包括内で検討を深め、必要に応じて行政や病院相談員、医師、介護事業者、民生委員や地域住民等と連携しながら支援を進めていきます。

当包括は高齢者1万人強の地域を担当し、個性豊かな女性7名と男性1名が、向上心と熱意を持ち、チーム一丸となって対応しています。介護予防、地域ケア会議、出前講座、ネットワーク作りなど、地域に根ざした活動も積極的に実施し、毎日軽快に走り回っています。



坂下地域 包括支援センター (いずみの苑内)

地域包括係長
福島 宏子





大特集

祝 成人

いずみの苑



その昔には都電の終点があった場所からほど近く、国道17号線から少し入った新河岸川と桜並木を望む場所に、平成7年、特別養護老人ホームいずみの苑が開所しました。

準備室が設置されてから開所に至るまでの期間、スタッフは帰宅できない日々が続き、大変な苦勞があったと聞いています。

現在に至るまでの間、介護保険制度の開始や地域包括支援センターの設置などにより、徐々に変化を遂げています。

これからも地域の頼りになる介護の複合施設として、地域とともに歩み、尽力してまいります。



特別養護老人ホーム入所者 **渡邊 みつ様**

大正12年6月20日生まれ (92歳)

平成7年9月12日入所

20年を振り返って

いずみの苑に来て早いもので20年、事前の面談の際に「良い所ですから渡邊さんも気に入って頂ければ」と言われ、自分は期待や不安もありましたが、まさか20年も暮らせるとは思っていませんでした。様々な思い出がありますが、一番はやはり天皇・皇后両陛下にお会い出来たことです。当時は、職員さんやボランティアの方、テレビ取材など、沢山の人が埋め尽くされていました。天皇陛下は、私たちとジャンケンをして下さいましたし、皇后陛下はとても綺麗な声で「元気で長生きして下さい。」と私に握手をして下さいました。両陛下から頂いたお菓子の箱は今でも大切にしております。

他には、行事や外出の思い出もたくさんあります。1階の芝生では季節ごとに花見やお祭りを楽しみましたし、誕生日には車で銀座まで連れて行ってもらい、みんなで外食を楽しみました。園芸が趣味の私は、屋上で野菜や果物を育て、特にメロンが美味しく出来たのを覚えています。

私もこの建物も年月が経ちましたが、これからの元気で一緒に年を重ねていきたいと思っています。

聞き取り代筆 介護第一係主任 岡部 秀輝



特別養護老人ホーム入所者
石井 喜美子様

昭和8年4月29日生まれ
(82歳)
平成7年9月27日入所

いずみの苑に入所して、今とても良かったと感じています。

いずみの苑の食事は美味しく、毎日の楽しみの一つでもあります。

ここでの生活を振り返ると、色々な思い出があります。外出して買物を楽しんだり好きな物を食べたことが印象に残っています。

今、身体を思うように動かすことが出来なくなりましたが、色々な苑内行事や余暇活動を通じて楽しみをもつことが出来て良かったと思います。

今後もしずみの苑で自分らしく生活していきたいと思っています。

聞き取り代筆
介護第二係 係長 幸村慎一郎



通所介護利用者
伊澤 樹身様

大正8年6月10日生まれ
(96歳)

この17年間、大きな病気もせず、週2回歩いていずみの苑のデイサービスへ通っています。

とても面倒見がよく、周囲の方々にもやさしく声を掛けたり、お世話をしてくださいます。ご本人にとってデイサービスとは「一人暮らしだから、通うとみなさんと会えて楽しいことや、

昼食の献立が自分で料理する時の参考になっていて、栄養士さんからのアドバイスがとてもありがたいんです。」とのことでした。90歳を過ぎた今でも、一日3食をご自分で作られています。これからも

お元気でデイサービスに通っていただきたいと職員一同願っています。

聞き取り代筆
通所介護事業所 次長 橋本賢一

開所20周年によせて

元施設長 佐久間 幸男

いずみの苑にお世話になったのは、平成16年4月から19年3月までの3か年でした。新たに指定管理者制度が実施されることになり、苑においてもその準備が大きな課題になっていました。当法人が指定管理者に選定されない場合には利用者や家族の皆様、職員の皆さん、そして当法人にとって、重大な影響があることは明らかでした。

そこで職員全員で、危機意識を共有し早急に対応することになりました。経営方針として、1、利用者の皆様の処遇の向上 2、働く環境の改善 3、地域の福祉への貢献 4、施設の整備と更新 5、経営の効率化の5つを定め職員の英知を結集し提案書を作成しました。

選考の結果、当法人が引き続き苑の運営を行うことになり、職員の積極的な協力により第三者評価において高い評価を得るに至りました。



写真提供 広報聴取区橋板

以上、苑の10周年当時を振り返り、指定管理者選定を中心に紹介しました。他にも様々な事に遭遇しましたが理事者、職員の皆様の力添えにより乗り越える事が出来ました。ここに深く感謝申し上げます。

平成 26 年度 東京援護協会の財政状況

事業活動収支の概要

(自平成 26 年 4 月 1 日 至平成 27 年 3 月 31 日) (単位:千円)

内 訳	収 入	支 出	収支差額
事業活動による収支	5,176,995	5,004,463	172,532
施設整備等による収支	73,001	224,845	△ 151,843
その他の活動による収支	83,320	136,459	△ 53,139
当期資金収支差額合計	5,333,317	5,365,768	△ 32,450
前期末支払資金残高			1,337,534
当期末支払資金残高			1,305,084

※平成 26 年度は田柄福祉園建設費用を計上しました。

貸借対照表

(平成 27 年 3 月 31 日現在) (単位:千円)

区 分	金 額	区 分	金 額	
流動資産	1,607,609	負債の部	流動負債	416,749
			固定負債	320,365
			負債の部合計	737,115
固定資産	1,881,507	純資産の部	基本金	77,805
			国庫補助金等特別積立金	519,989
固定資産	776,254		その他の積立金	638,551
その他固定資産	1,105,252		次期繰越活動増減差額	1,515,655
			純資産の部合計	2,752,001
資産の部合計	3,489,116	負債及び純資産の部合計		3,489,116

平成 27 年度 下半期 『法人施設公開行事日程 及び 地域交流行事一覧』

施設名	行事名	月日	時間帯	備 考
東京都練馬障害者支援ホーム	ふれあい秋まつり	9月26日(土)	10:00~15:00	地域交流・地域公開行事。自主生産品販売、模擬店、ゲームコーナー、クラブ発表等。
大泉障害者支援ホーム	ふれEYEまつり	10月3日(土)	10:00~15:00	毎年恒例のホーム祭。コンサート・施設紹介・模擬店・アトラクションなど実施。
蓮根福祉園	れんこんまつり	10月10日(土)	10:00~15:30	地域団体の協力を得て開催する地域交流行事。各施設の自主生産品出店、東北支援物品販売、模擬店、クラブ発表等。
特別養護老人ホーム蔵前・くらまえ高齢者在宅サービスセンター	第37回寿作品展	10月21日(水)・10月22日(木)	9:30~16:00	台東区役所10階会議室にて。デイサービスの利用者・特養の入所者の方々の作品の展示。
特別養護老人ホームいずみの苑 蓮根高齢者在宅サービスセンター	20周年いずみ祭	10月25日(日)	10:00~15:00	「絆を深め いずみの輪」テーマに地域交流のお祭りを開催。
関町福祉園	施設公開「関町フェスティバル」	10月31日(土)	10:30~14:30	地域の方に福祉園を身近に感じていただくため、コンサート、自主製品販売を行う。
町田荘・サルビア荘合同	オープンハウス2015~丘の上の施設から~	11月7日(土)	10:00~16:00 ※感染症流行時等中止の場合あり	日常行われている支援、サービスなどを公開することにより、地域の方や関係機関の方に施設を知ってもらうとともに地域との連携を強化する。 内容:施設見学、介護相談、自主生産品・利用者作品販売、地元のプロサッカークラブによるサッカー教室、他催し物多数。
大泉障害者支援ホーム	就労支援講演会	11月11日(水)	10:30~12:00	発達障がいをお持ちの方に対する就労支援のあり方について、親御さんの体験談を交えた講演会を実施する。
前野福祉園	ニコニコフェスタ2015	11月14日(土)	10:00~15:00	地域の方に施設事業を公開する地域交流行事。アトラクション、クラブ発表、模擬店、自主生産品販売等。
三園福祉園	施設公開『みその祭り』	11月18日(水)~20日(金)	10:30~11:30 13:30~14:30	福祉園で行っている日中活動(作業やレクリエーションなど)を利用者と一緒に体験していただけます。 地域団体によるイベントも予定しております。
田柄福祉園	施設公開	11月21日(土)	10:30~14:30	地域の方々、ご家族、関係機関等を対象に、実際の活動や写真・映像等を公開し、施設を理解していただく機会とする。
高島平福祉園	虹の祭典	11月21日(土)	10:00~14:45	施設紹介、自主製品販売、模擬店、地域交流、イベント等。
小豆沢福祉園	施設公開「あぎのあずさ大公開」	11月28日(土)	10:30~14:30	地域交流行事、作業体験コーナー スライドショーでの活動紹介、模擬店、イベント等。
前野高齢者在宅サービスセンター	年忘れ会	12月9日(水)~11日(金)	11:00~15:00	毎年の恒例行事。もちつき、歌、演劇など利用者全体で実施。家族や地域の方々にも公開。
大泉障害者支援ホーム	盲導犬と親しむ会	未定	未定	「日本盲導犬協会」の協力を得て、地域の方に盲導犬の役割を知っていただく催しとする。
東が丘福祉工房	年忘れ会	12月18日(金)	10:00~14:30	地域の方々や家族とともに、一年を振り返り、クラブなどの発表会や歌・ゲーム等を楽しんでいただく恒例の行事。
	さくらまつり	3月25日(金)	10:00~12:00	地域の方々、保育園児や家族と共に、イベントや抹茶(菓子付)などを楽しみ、自主生産品の出店(2~3店)して実施。

「働きやすい職場づくり」プロジェクトチーム報告

リーダー 高島平福祉園 園長 中山 眞知子

職員の皆様にとって働きやすい環境づくりと職員の健康増進等を目指し、「働きやすい職場作り」プロジェクトチームを昨年度6月に結成し、課題への取り組みを進めてまいりました。プロジェクトチームでは十分な時間の中で 討議を重ね、5つの主題と50の取組項目について検討し、健康管理や福利厚生の実施などに取り組んでおります。

例を挙げますと、福利厚生制度を平成26年5月より、福利厚生センターの「ソウェルクラブ」から、職員にとってよりメリットが大きい、(株)JTBベネフィットの「えらべる倶楽部」へ変更致しました。法人の創立記念日の5月17日には、永年勤続表彰を行うとともに、施設長より推薦のあった優良職員を表彰する等、職員のモチベーション向上に資するべく実施されております。また健康面においては、本年12月からストレスチェック等のメンタルケアを始めてまいります。加えて法人施設間の職員交流を図るため、来年1月にはボーリング大会を実施する予定となっております。

これからも法人で働く職員一人ひとりにとって「働きがい・やりがい」があると感じることができるよう「魅力ある職場」の構築を提案し、さらなるより良い施設運営を目指してまいります。

平成 27 年度 上半期 地域交流行事報告

田柄福祉園

田柄福祉園ではじめての納涼祭

「ひまわりフェスタ」開催

田柄福祉園 生活支援員 喜志麻拓大

7月11日(土)に田柄福祉園に於いて、第一回納涼祭「ひまわりフェスタ」が開催されました。当日は天候にも恵まれ、大勢の方にご参加いただくことができました。

お祭りでは、小豆沢福祉園や大泉障害者支援ホーム、貫井福祉園、前野福祉園、三園福祉園など様々な福祉園の方々による生産品の販売や、ゲームコーナーでの「射的ゲーム」や「くじびき」などが行われました。また、模擬店では、「ぎょうざ」や「和民」や「きそば」などの他、夏の定番「かき氷」も販売し、皆さん「おいしく♪」と笑顔で召し上がっていました。

お祭りの合間では、練馬区の公式アニメキャラクターである「ねり丸くん」も登場し、みなさん「ねり丸くんがキター(*^o^*)」と記念撮影を楽しむ様子もみられていました。

11月21日(土)には、「施設公開」もごございますので、ご都合のよろしい方はぜひご来園ください。お待ちしております。



特別養護老人ホーム蔵前

隅田川花火大会

特別養護老人ホーム蔵前 介護係 加藤茜澄

特別養護老人ホーム蔵前では、毎年夏の一大イベントがあります。

それは、毎年7月の最終土曜日に開催される隅田川花火大会の鑑賞です。

特別養護老人ホーム蔵前7階の庭園からは、東京スカイツリーと一緒に隅田川の花火を見ることができます。

ご家族と一緒に花火を楽しんだり、アイスクリームを食べながら花火をみたり、皆さんとても満足そうでした！

今年は7階全体を夏らしく飾り付けし、夏らしい雰囲気を感じながら花火鑑賞をする事が出来たので、入所者の皆さんはとても楽しい時間が過ごせたと思います。





法人の徽章

○徽章の理念は『平等』を現しています。
 ○上半分は『太陽』を、下半分は『海』を意味しています。
 『太陽』は生きる者全てに、わけ隔てなく光を与え育みます。そして人への愛、温もり、笑顔などのイメージが広がります。『海』は、地球上のあらゆる生物を産み、暖かく育ててくれた場です。
 ○『太陽』と『海』の存在が、平等を実現しています。

社会福祉法人東京援護協会施設一覧

法人本部

〒101-0044
 千代田区鍛冶町 1-8-5 新神田ビル2階
 TEL : 03-3256-4711

施設(事業)名	住 所
町田荘 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業(空床利用型)	〒194-0203 町田市図師町 2987 TEL : 042-791-0905
サルビア荘 特別養護老人ホーム 短期入所生活介護事業 指定居宅介護支援事業 通所介護事業	〒194-0203 町田市図師町 2987 TEL : 042-794-0333
東京都練馬障害者支援ホーム 施設入所支援事業 生活介護事業 自立訓練(機能訓練)事業 短期入所事業(空床利用型)	〒178-0065 練馬区西大泉 5-36-2 TEL : 03-3925-0088
練馬区立心身障害者福祉センター 練馬区中途障害者通所事業 自立訓練(機能訓練) 自立訓練(生活訓練) 地域活動支援センター	〒176-0021 練馬区費井 1-9-1 TEL : 03-3926-7214
高島平福祉園 生活介護事業 就労継続支援B型事業	〒175-0082 板橋区高島平 9-25-12 TEL : 03-3550-3403
板橋区立障がい者福祉センター 地域活動支援センター (地域活動支援センター事業) (セミナー事業) (施設利用) 指定相談支援事業	
高島平福祉園分場 就労継続支援B型事業	〒175-0082 板橋区高島平 9-1-8-201 TEL : 03-5399-7170
蓮根福祉園 就労継続支援B型事業	〒174-0043 板橋区坂下 2-8-1-101 TEL : 03-5392-0761
前野福祉園 就労継続支援B型事業	〒174-0063 板橋区前野町 4-16-1 TEL : 03-5392-8731
前野高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業 指定居宅介護支援事業	
特別養護老人ホームいずみの苑 短期入所生活介護事業 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 訪問介護事業 地域包括支援センター	〒174-0042 板橋区東坂下 2-2-22 TEL : 03-5970-9101
蓮根高齢者在宅サービスセンター 通所介護事業 指定居宅介護支援事業	〒174-0046 板橋区蓮根 2-28-2 TEL : 03-5994-1111

施設(事業)名	住 所
小豆沢福祉園 生活介護事業	〒174-0042 板橋区東坂下 1-4-9 TEL : 03-3969-5131
ケアハウス松が谷 軽費老人ホーム 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0036 台東区松が谷 4-4-3 TEL : 03-3845-6501
特別養護老人ホーム蔵前 通所介護事業 指定居宅介護支援事業 地域包括支援センター	〒111-0051 台東区蔵前 2-11-7 TEL : 03-3862-3033 〒111-0051 台東区蔵前 2-11-3
中野寮 自立支援センター 地域生活継続支援事業 地域生活移行支援事業 巡回相談事業 緊急一時宿泊事業 ホームレス生活サポート事業	
大泉障害者支援ホーム 施設入所支援事業 生活介護事業 短期入所事業 就労移行支援事業 就労継続支援B型事業	〒178-0061 練馬区大泉学園町 9-4-2 TEL : 03-3978-5581
東が丘荘 更生施設 通所・訪問事業 ステップハウス事業 宿泊所	
目黒区東が丘障害福祉施設 目黒区立東が丘福祉工房 生活介護事業 目黒区立東が丘あじさいホーム 短期入所事業 福祉ホーム	〒152-0021 目黒区東が丘 1-21-15 工 房 TEL : 03-3410-0778 ホーム TEL : 03-3410-6030
練馬区立関町福祉園 生活介護事業	〒177-0053 練馬区関町南 3-15-35 TEL : 03-3594-0217
三園福祉園 生活介護事業 重症心身障害児(者)通所事業	〒175-0091 板橋区三園 2-9-16 TEL : 03-5383-9587
田柄福祉園 生活介護事業	〒179-0073 練馬区田柄 3-14-9 TEL : 03-3577-2201

発行日 平成二十七年十一月一日
 発行者 山口 桂造
 社会福祉法人 東京援護協会
 東京都千代田区鍛冶町一八八五
 新神田ビル2階
 電話 ○三三二五六一四七一

編集後記

季節はすっかり秋めいてまいりました。今年も各施設では夏祭りや施設公開行事などで盛り上がったことと思いますが、なんとと言っても「いずみの苑」が20周年を迎え法人にとっても記念すべき年となりました。今回は「いずみの苑」の大特集を中心にお送りさせて頂きました。来年は、「町田荘」の開所50周年、「高島平福祉園」の開所30周年を迎えるおめでたい年と続きます。今後もより良いサービスの提供が行えるよう、「東援だより」では各施設の取り組みや温かいニュースを発信して行きます。次回発行は28年4月です。



「葡萄棚」
 徐々に紫色になり、自然な味となります。
 撮影：練馬障害者支援ホーム

この施設
 この一枚